

新連載・第1弾 大岡川 水中ドローンの旅

水中ドローンで 大岡川を解剖!

この大岡川ニュースを発行し始めた3年前から、大岡川の源流～河口までの水

@源流域・氷取沢

の中がどのようなか見てみたいというリクエストが当方に数多く寄せられていました。川に潜ったり、水中カメラを仕掛けたり、いろ

いろな方法を考えていましたが、困難なことがあまりにも多すぎて今まで実現できていませんでした。ところが、ここ数年、空撮のできるドローンが急速に進化。そのことでカメラの超小型化、高性能化、そして搭載バッテリーの超小型化と超高性能化が進んだのです。空中のドローンが進化すると、今まで人がなかなか入れなかった水の中でも遠隔操作で撮影のできる水中ドローンもあとを追うように開発が進みました。ただ水中は電波が伝わらないた

め、水中ドローンは基本的に有線式になります。

そこで、私たちも水中ドローンを使えば、あまり難しいことなく大岡川の水の中の実態が見られることに気づき、まずはパワービジョン社製のパワーレイという水中ドローンを使って、大岡川を解剖してみました。

源流域は 落ち葉の絨毯でした!

12月の中旬、大岡川源流域・氷取沢の淵に水中ドローンを投入してみました。ドローンを沈めると、ケーブルを通じて、オンタイムで映像が送られて来ます。手元のモニターには川底に堆積



夏の台風で折れたのでしょうか? かなり大きな枝が倒れ込んでいました。 撮影:豊田直之

した落ち葉が映し出されます。落ちたばかりの葉は、まだ鮮やかなその色を放ち、落ちてから時間の経った葉はすっかりと色を失っています。モミジ、ヤマザクラ、クヌギ、いろいろな形をした落ち葉が重なり合い、まるでふかふかの絨毯のようでした。普段は、このエリアではアブラハヤなどの魚影や淡水に棲む小さなエビ類が見られるのですが、冬眠中なのかまったくその姿は

見られません。おそらく落ち葉の堆積の下側に入り込み、落ち葉のベッドですっかりと夢心地なのでしょう。そんな熟睡中の彼らを起こさないように、静かに水中ドローンを引き上げ、今回の探索を終えました。

次回は大岡川のどの辺りで水中ドローンによる探索をしようか思案中。今まで見たこともないような大岡川の姿を公開していきます。乞うご期待!



いろいろな種類の落ち葉が川底に堆積。これらの葉がとてつもない時間をかけて分解され、土に変わっていきます。 撮影:豊田直之

大岡川ニュースのキャラクター 名前大募集!

おいらに名前をつけてね!

おいらは、生まれも育ちもヨコハマ。大岡川で産湯をつかい、人知れず川底で大岡川PGT大作戦に加わる、ゴミ拾い大好きなハゼ・3歳。大岡川ニュースの読者のみなさん、おいらに名前をつけてくださいな!

応募方法

ハガキ、メールのどちらかの方法でご応募ください。締切は3月10日。ハガキの場合は、〒222-0011 横浜市港北区菊名2-24-24 NPO法人海の森・山の森事務局、キャラクター名前大募集係宛。メールは、toyo-da@nifty.com まで送信ください。採用の場合は記念品贈呈します。



新聞サポーターへうれしい特典!

次の4/20発行12号に、前述のキャラクターのステッカーを同封予定です。スマホの裏側などに貼っていただき、提携のお店でこのステッカーを見せていただくと様々な特典が受けられるよう準備中です。

すでにお申し出いただいているのは、天麩羅の登良屋さんで小鉢一つ、中国家庭料理の一品香さんで全店でアイスウロン茶一杯、お茶の川本屋商店さん

でごぼう茶10g。飲食または商品ご購入の際にお見せいただくとプレゼントいただけます。今後さらに提携特典を増やしていきます。



登良屋さんでお食事時小鉢プレゼント決定!

理事長トヨダの The Lord of the Everest

第2回

「なんてうまい水なんだ!」思わずそう叫んでしまった。ロシアのエルブルース登山のために宿泊した麓のホテル。なんとホテルの蛇口からミネラルウォーターが出て来る。しかもその味は横浜市の水道水の源の一つである山梨県道志村の源流の水に匹敵するほどののだ。

エルブルースの山を含むコーカサス山脈の雪解け水が山に染み込み、その水が山の内部で磨かれて湧き出す。素晴らしい環境だと、その時は感動した。

しかし、頂上アタックのために滞在した、標高3,800m付近の

山小屋で、目を覆いたくなるような事態を目の当たりにした。山小屋の裏側に回り込むと、登山客の食べ残した食材が食事のたびごとにそのまま廃棄されていた。またトイレも、ただ小屋の床に楕円形の穴が空いただけで、大便も小便もそのまま山の斜面に大量に溜まっていた。エルブルースは、セブンスミッツ(七大陸最高峰)の一つ。世界各地から多くの登山家たちがやって来る。あの麓のホテルのうまい水が飲料に適さなくなるのも時間の問題であろう。

私は、これからも世界最高峰のエベレストの最初の一滴を求



エルブルースの麓のチェゲット村には、素晴らしい滝も見られた。 撮影:豊田直之

めて、世界各地の高い山に登るトレーニングを続ける。そこで見てきたことを、小学生たちに写真を見せながら伝えていく。環境問題は、単に私たちの身の回りだけで起きているのではない、地球全体で起きていることを。そのための旅なのだ。



山小屋の裏側には、登山客の食べ残したものがそのまま廃棄されていた。臭いを放ち、カラスやキツネがそれを漁りに来る。 撮影:豊田直之



吉田興産グループ

横浜市中央区長者町9丁目175番地 TEL045-251-4545

都市開発の基礎を支える 三好商会グループ

【商社】(株)三好商会 横浜市西区北幸2-8-4 045-328-3440
【運送】旭企業(株) 横浜市西区北幸2-8-4 045-328-3520
【環境】三好環境(株) 川崎市川崎区東田町8 044-221-1602

天麩羅・肴 登良屋

横浜市中区吉田町2-3
045-251-2271